

エアコン設置に係る部分

電気工事士、施工規則の一部改正

エアコン設置や移設工事を行う場合、一部に電気工事が絡むにも関わらず、曖昧な解釈で、電気工事士でない者が電気工事を行っている場合が多かったようです。昨年十二月三日、原子力安全・保安院は施行規則を公布し、解釈をおおむね次のようにしました。

Q&Aで紹介しましょう。

Q1: エアコンの設置工事は電気工事士が行うのですか？

A1: 標準的エアコン設置工事は電気工事士でなくてもよい。しかし、

電気工事士、施工規則の一部改正

業として設置工事を行う場合は個人・法人を問わず電気工事業の登録が必要とす。

Q2: 標準的エアコン設置工事とは？

A2: コンセント工事や接地工事を含まないエアコン設置工事です。

Q3: 引越し時の取り外し作業は？

A3: 電気工事士である必要はないが、業として行う場合は、電気工事業の登録が必要とす。

■電気工事士でなければできない作業

○接地極の埋設、接地線の接続工事

○コンセントの移設増設、室内配線の新設

○電圧の切り替え工事

■左記の作業も業として行う場合は、電気工事業登録が必要とす

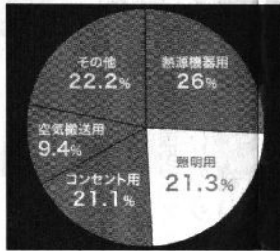
○内外連絡電線の接続作業

○内外連絡電線と配管をまとめて壁に取り付ける作業

○接地線をターミナルに差し込み締め付ける作業

このように具体的に定められ、据え付けや撤去工事を業として行うものは、すべて電気工事業の登録が求められることとなりました。

建造物におけるエネルギー消費率



建造物に占める照明のエネルギー消費率は約四分の一と言われ、省エネルギーが強く求められている分野です。もし一九九五年以前から使用している住宅・業務用の照明器具の全てを、今

建造物における省エネルギー消費率

アメリカのオバマ新大統領は、これまでの消極的環境政策を転換し、グリーンニューディールともいうべき環境重視政策で、経済発展の起爆剤とする旨を発表しました。地球温暖化は決して他人事ではなく、それに起因する異常気象、例えば集中豪雨・巨大ハリケーン・海面上昇・熱波などで我々に警告しています。そこでエネルギー消費削減や二酸化炭素(CO₂)の排出削減が国家の課題となりました。今回は省エネやCO₂削減に寄与する明かりのエコ技術が、どこまで進歩したかを紹介します。

いよいよまできた明かりのエコ技術と展望

日環境配慮型照明器具に置き換えたと仮定すると①年間電力消費量は約一七八億kWhから約一一三億kWhに減少し、②CO₂排出量に換算して約六九六万トンから四四二万トンに削減される。杉の木約一八億本分に匹敵するといわれます。(環境省資料より)

具体的事例を紹介

白熱電球の場合

長寿命、低消費電力の蛍光型電球に移行中であり、白熱電球は数年中に製造中止になるもよう。

蛍光灯の場合

明るさ：一本で二本分の明るさを実現

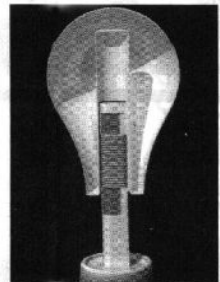


LED照明器具

消費電力：四三%削減
寿命：トリプルコイル技術で一五倍に
LED照明器具(発光ダイオード型)
消費電力：白熱電球と比べて七分の一に削減
寿命：白熱型と比較して二七倍、十年(コストでは四年で償却可能)

長寿命の秘密

エーライトの発光部は、水銀蒸気を封入したガラス球ですから、消耗部品をほとんど使用していないため、他のランプにない長寿命を実現しています。



長寿命エーライト

このように、低消費電力性と長寿命化が、エネルギーの消費削減と、資源の節約に大きく貢献しています。ランプ寿命六万時間は、器具の寿命に匹敵し、ランプ交換は言葉すら死語になるかもしれません。

☆国際ソロプチミストの活動
当社専務本間セツは、国際ソロプチミスト相模原に所属。同組織は管理職、専門職に就いている女性の世界的組織で、女性の人權と地位を高める奉仕活動を行っています。歳入活動(チャリティゴルフやバザー等)の収益金で、主として地域団体への寄付や支援、顕彰活動の人材発掘、講演会開



岩木 淳・友の会・カラオケ大会



庄内名物「どんがら汁」の集い



講演会后、山田邦子さんを囲んで

催などを行います。直近の活動は市健康企画課との共催、山田邦子氏を講師に「女性の健康と幸せを考える講演会」(乳がんの講演)を開催。千人以上の入場者より、とても有意義であったと好評を得ました。専務は、昨年度はレコーディングセクレタリーを、今年度はコレスボンディングセクレタリーを担当しています。

☆岩木淳友の会カラオケ大会
弊社代表が会長を務める岩木淳友の会が、一月二十四日あじさい会館において第三回カラオケ大会を開催、大勢の参加者で賑わいました。一部は発表会で順位はなく、参加するところに意義があります。二部は出場者が岩木淳の歌「大河」を唄い、審査して今回のチャンピオンを決めました。三部は一般曲でのどを披露し、審査のうえ優勝者を決定。第四回カラオケ大会は六月二十一日(日)南市民ホールで開催の予定です。

☆庄内名物「どんがら汁」の集い
一月二十五日(日)、中和田自治会館にて「どんがら汁」と称して「たら汁」を楽しむ集いを行いました。本館の故郷庄内地方ではこの季節、産卵のため岸によってくる鱈がとれます。脂が乗って美味しく、アノコに勝るとも劣りません。酒田や鶴岡では「たら汁祭り」が盛大に行われるほど人気のある食材でもあります。「鱈がこんなふうまじ」とは、「庄内から直接取り寄せた甲斐があった」というものです。



近況報告

「このページには、セクレタリーの仕事が紹介されています。」



ダイキンヨーロッパ社視察と観光

二月八日から十四日に
かけて、神奈川県ダイキン
空調(株)様と取引先九社
十名は、ベルギーにある
ダイキンヨーロッパ社の
視察と観光を楽しみま
した。

主目的のダイキンヨー
ロッパ社を視察して、ダイ
キン工業(株)の海外戦略の
一端を垣間見ると同時に、
ヨーロッパでの空調リー
ディングカンパニーとし
ての地位や、ベルギー王
国の同社に対する多大な
期待を理解できました。

歴史的観光名所を巡る
二月八日昼頃スカン
ジナピア航空で成田を発
ちデンマーク・コペンハー
ゲンに着いたのは現地時
間八日夕方。乗継ぎ待ち
二時間の後、目的地ベルギ
ー・ブリュッセルに夜八
時に到着。



ダイキン・ヨーロッパ社



ブルー・ジュ・マルクト広場



ブラハ・カレル橋



クナー・ホラ・バレルバ教会

十一日はチエコ・プラハへ
飛び、プラハ城やカレル橋
などを市内観光。翌十二
日もチエコ東部の町クト
ナーホラにあるバルバラ
教会や教会墓地を見て回
り、午後は南部の中世の街
世界遺産パリアージュ広
場を観光。



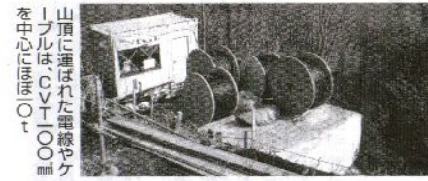
コンハーゲン
人魚姫

十三日は朝暗いうちに出
発し初日のコンハーゲン空
港へ。乗継ぎ待ちの数時間を
市内観光にあて、港に建てら
れた人魚姫の銅像を見るこ
とができました。
十三日午後四時頃コペンハ
ーゲンを発ち成田に着いた
のは、時計が二回り半した日
本時間十四日十一時。降りて
日本は暑いなあと感じたのは、
後でこの日が記録的な暑い
日だったと知りました。

庄内電機(株) デジタルテレビ中継局用電源工事

BUSINESS フィールド

現在のアナログ放送
は、二〇一二年七月二十
四日をもってデジタル
放送に代わります。二
〇〇三年十一月から始
まったデジタルへの移行
は、順調にそのエリアを
拡大、デジタル化ロード
マップは、ホームベーシ
でも知る事ができます。
今回当社では、長い顧客でもある庄内
電機(株)様から、箱根山山頂のデジタルテ
レビ中継局用電源工事を受注しました。
その概要を写真で紹介いたします。



相模原地域ネットワーク

☆災害ボランティア新年会
弊社社長本高俊二
が代表を務める「相
模原災害ボランティア
ネットワーク」が二
月十五日、会員二十
四名の賛同交歓会を
開催。自己紹介や今
後の活動、抱負など
を語り合い、案し
有意義な会となりま
した。当ネットワーク
は緊急の際に、日頃
から顔の見える関係
を保つておく必要性
もあり、このような
交歓会は活動の一つ
としてしています。

☆民間交番(相模原安主安心ステーション)のサポート隊結成一年
平成十九年十一月
にオープンした民間
交番の運営をサポート
することを目的に、
このサポート隊は二
十年一月十六日、三
十五人で結成されま
した。弊社代表本高
俊二は九年前からこ
の地域の環境浄化に
奔走、サポート隊で
は事務局として任に
当たり、隊長は共に
活動してきた渋谷良
治氏が務めています。



民間交番のサポート隊



災害ボランティア新年会

企業ルポ

お客様紹介 56

庄内電機株式会社

本社 〒213-0002 川崎市高津区二子3-18-2



代表取締役
社長
佐藤 千代子 氏

TEL (044) 811-1761 (代)
FAX (044) 850-4180
E-mail: eigyo@syounai.co.jp

庄内電機株式会社

- ・創業 昭和46年7月26日
- ・資本金 1,500万円
- ・代表取締役 佐藤千代子氏
- ・年間売上高 3億8千万円
- ・事業所数 1ヶ所(本社・工場)
- ・従業員数 20名
- ・事業内容

設計・製作(高圧・低圧各受配電盤、自動・自家発電制御盤、メタハラ照明車操作盤、計装盤等)
設備工事(電源・通信施設等の設備設計施工、機器の据付・試験・保守、非常用発動発電機保守点検・分解整備、非常用発動発電機)

全国に1億台以上普及している全てのテレビのデジタル化が2011年を以て始まります。同社では、この地上放送デジタル化への壮大な事業に関する設備工事などに、全社一丸となり日本全国の地域で活動しています。
創業者・佐藤正志社長は34歳

で某電機メーカーより独立、山形県酒田市出身であることから社名を庄内電機(株)と命名。

以来およそ40年に亘る事業活動により、日本最大の放送局を中心に、電力会社や大手電機・機械メーカー、宇宙開発事業団などから独自の技術開発で信頼を獲得。北は北海道から南は沖縄石垣島、硫黄島(自衛隊基地)まで広範な地域での活動を展開、社会貢献に寄与しています。

同社では創業来、製造部のみであったものが平成9年、施設工事を増設、平成14年に両者と本社を統合し現在地に移転しました。

製造部・施設工事も放送関連が受注の90%を占めています。技術の独自性が他企業との融合を排し、その特殊性を生かした納入製品と設備工事は、長年積み重ねてきた技術への信頼と重要性を認識されて受注高に反映。依頼主との信頼関係を築くのに要した長い時間は、テレビデジタル化を迎えて時

代の波に乗り、業績を大きく伸展させてくれることでしょう。

角石秀司専務取締役は、全社員や関係業者が生活基盤を築けるような磐石な運営を目指したいと話されます。また将来の展望として、省エネやエコを重視しての太陽電池や風力発電の技術開発ができる事業部をもち、メーカーの研究室と提携して技術的な提案などを行い、実現しようとしています。「ホンマ電機とは30年来の関係で、機器の搬入設置を依頼、発電機のメンテナンスでは依頼を受けたり。本間常務は私の良き相談相手です」



山の上のテレビ中継局

本社社屋(工場併)

開発製品 放送機用無停電装置(自動制御盤)